

令和4年度 第2回新津第一・第二圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和5年2月9日(木) 10:00~11:30

会場：新津地域交流センター3階（多目的ホール3）

【出席者】

新津中央コミ協：三澤健康福祉部長、新津中央地区民協：吉川会長
田家2丁目町内会：小野沢会長、新津西部コミ協：内田副会長、新津西部地区民協：佐藤会長、
荻川コミ協：加納副会長、荻川地区民協：中野会長、車場寿会：和田会長、
秋葉区健康福祉課：五十嵐副主査、包括新津：阿部管理者、
秋葉区健康福祉：今井係長(行政担当者)
秋葉区社協：横山補佐（事務局・構成員兼務）、加藤 SC、吉岡 SC(新津第五圏域担当)

【内容】

1 新津中央地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<p><u>(1)居場所の立ち上げ</u></p> <ul style="list-style-type: none">・三善道(本町2丁目2区、善道町1丁目、善道町2丁目)の居場所「三善道憩いの場『絆』」を立ち上げた。検討会にPTAも巻き込み、夏休みに子どもの居場所を先行して実施し、憩いの場『絆』でも若い人と共に運営できており、年齢を問わない多世代交流の場となっている。・広報チラシを3町内全世帯配布し、公式ラインやユーチューブで発信し、PRしている。	<p><u>(1)三善道憩いの場「絆」について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・多くの参加はあるが、世帯数からみると参加率が少ない。ユーチューブなどは見ているが会場参加に至らない現状もある。・これからは買い物や通院の助け合いを視野に生活支援に向けての検討をしていく。
<p><u>(2)除雪の助け合い</u></p> <ul style="list-style-type: none">・善道町1丁目、田家2丁目、田家3丁目、秋葉3丁目、中沢町で除雪の取り組みをしている。・秋葉1丁目と新津高校との支え合い除雪について、町内会と民生委員で検討会をし、	<p><u>(2)除雪の助け合い</u></p> <ul style="list-style-type: none">・善道町1丁目の担い手が減っており、今後の活動について検討していく。・田家2丁目では、市の除雪車が入らない道路の除雪や、心配な高齢者宅前の除雪を行っているが、除雪の問題は深い。

<p>除雪の助け合いについて認識を共有できた。</p>	<p>・今年度中に秋葉1丁目との新津高校と支え合い除雪を実践し、来年度も更に学校と地域の連携を深めるための検討を行う。</p>
-----------------------------	---

2 新津西部地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<p><u>(1)生活支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスみゆき(美幸町)の活動PRが浸透し、広がりがあった。地域の役割があることの大切さも確認できた。活動を通じて見守りにもなっている。 ・依頼者の要望については、互いに対話しながら無理の無い活動になっている。 ・ビジネスみゆきの活動として、子ども達が安心して遊べる公園整備も行っている。見通しの良い環境を作り、防犯にもなっている。 <p><u>(2)移動支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新栄町町内会と移動に関する課題について情報交換を行った。年度内に、町内会とほっとサポートしんえい、社協での検討会を行う予定。(コロナの関係で延期の為、日程調整中) <p><u>(3)地域におけるつながり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に町内行事の企画運営を任せて実施できた。(美幸町) <p><u>(4)緊急情報キットの配布</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協より全町内会へ周知し、全域で配布事業を進めており、随時、緊急情報キット及び情報用紙の配布を行っている。 	<p><u>(1)生活支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざし、PRと活動を継続していく。 <p><u>(2)移動支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新栄町の居場所への送迎について、町内会とほっとサポートしんえいと社協で今後、具体的な検討を進めていく。 <p><u>(3)地域におけるつながり強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も若い世代も町内活動に入ってもらい、役割を持って運営を継承していく。 <p><u>(4)緊急情報キットの配布</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットを活用した見守りを検討していく必要がある。

3 荻川地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<p><u>(1)見守り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おぎかわあったかネットの活動で、つながりが広がった。 <p><u>(2)移動支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻川やすらぎの間の送迎や一時避難所について(福)藤の木原福祉会と情報交換会を行い、地域連携を図ることができた。 <p><u>(3)子どもの居場所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川口ほうかご広場を立上げ、結小学校区にも子どもの居場所ができた。荻川子ども食堂と連携して川口でも子ども食堂を開催することができた。 ・子ども食堂の対象は「子ども」に限らず、高齢者も歓迎しており、喜ばれている。 	<p><u>(1)見守りと生活支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻川地区の見守り活動を一体的にする為の検討をしていく。また、見守り活動から生活支援に踏み込んだ支え合いを検討していく。 <p><u>(2)移動支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが壁となり、(福)藤の木原福祉会による送迎の実現に至っていない。また、参加者が減っていることから、周知方法や移動支援について今後、具体的な検討を進めていく。 <p><u>(3)子どもの居場所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、子ども食堂と子どもの居場所の連携を継続していく。 ・月1回開催したいが資金面が課題である。

4 圏域全体

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<p><u>(1)民生委員児童委員の活動から</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者宅へ訪問し、声をかけている。家族が遠方、または身寄りが無いと民生委員を頼りにしており、都度対応している。 	<p><u>(1)支え合いのしくみづくりの啓発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、認知症や被害妄想など抱え、身寄りの無い高齢者の対応が非常に難しく、深刻になってきている。圏域全体の地域の課題であることから、認知症の理解に関するチラシを1層の協議体と連携して作成することになった。 <p><u>(2)緊急情報キットを活用した見守り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら孤立を招いている人もいる。人と関わりたくない人に対する支援が難しい。緊急情報キットを活用し、つながる突破口として有効ではないか。

